



ダイバーシティ&インクルージョンセミナー：働き方改革

本学は、8月から10月の3か月間を「ダイバーシティ&インクルージョン強化期間」とし、セミナーや研修の開催を通じて、意識啓発の強化に努めています。

9月は、**男性教職員・管理職のための働き方改革推進研修**として、教育社会学、ジェンダー学、男性学が専門の関西大学 文学部 多賀 太 教授を講師にお招きし、セミナーを開催いたします。みなさまのお申し込みをお待ちしております。

オンライン
Zoom
開催

「このままでよいのか？ —大学教職員の働き方・暮らし方—」

- 開催日時：2022年9月14日（水）13：30～14：30（オンライン）
- 受講対象：管理的立場にある男性の教職員（教授、管理職等）及び働き方改革に関心のある教職員、学生含めご興味のある方どなたでも
- 講師：多賀 太氏 関西大学 文学部 教授

日本は諸外国に比べて、家事や育児などの無償労働の責任が女性に、稼ぎ手責任が男性に極端に偏った社会です。多くの職場で、家庭責任を免除された男性従業員を中心とした長時間労働体制がまだ根強く、これが家庭責任を負う女性のキャリアアップや、男性の仕事と育児の両立への足かせとなっています。また近年、組織が環境の変化に適応しイノベーションを起こすうえで、男性中心の同質的な組織よりも女性を含めた多様なメンバーからなる組織の方が有利であるとの認識も広まりつつあります。大学教職員が性別にかかわらずキャリア形成と生活の質の向上を両立でき、同時に大学が今日の社会的要請に応えつつ発展していくうえで、特に男性教職員や管理職には何ができるでしょうか。参加者の皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

●PROFILE

専門は教育社会学、ジェンダー学。九州大学大学院で博士（教育学）取得。主な役職に、奈良県・京都市男女共同参画審議会委員、公益財団法人日本女性学習財団評議員、NPO法人デートDV防止全国ネットワーク理事、男性主体でジェンダーに基づく暴力防止に取り組む「一般社団法人ホワイトトリボンキャンペーン・ジャパン」共同代表など。著書に『ジェンダーで読み解く 男性の働き方・暮らし方』（時事通信出版局、2022）、『男子問題の時代？』（学文社、2016）、『揺らぐサラリーマン生活』（ミネルヴァ書房・編著 2011）など。2022年10月から関西大学文学部長就任予定。



● お申し込みはこちら

<https://forms.office.com/r/hWNUbnIzG4>



大阪大学
ダイバーシティ&インクルージョンセンター
Center for Diversity and Inclusion